

幾多の困難を乗り越えて「今」の川根本町がある ピンチをチャンスととらえ、元氣再生を図りたい

町政懇談会では活発な意見を
ありがとうございました

町民の皆さん、新年あけまして
おめでとうございます。希望に満
ちた新春を、すがすがしい気持ち
でお迎えのことと心より喜び申
上げます。

昨年10月から11月にかけて、9回
にわたって実施した町政懇談会に
は、多くの人が足を運んでくださ
いました。ありがとうございます。
どの会場も、皆さんから活発
な意見や質問が投げかけられ、そ

の真剣な表情に身が引き締まる思
いがしました。

限られた時間ではありましたが、
厳しいご批判や励ましの言葉、地
域産業を懸念する声や情報通信基
盤整備事業に関するご意見なども
多数いただきました。これらの意
見を参考にしながら、今後の町政
を進めていきたいと考えています。

**地に足が着いた確実な町政
を進めていきます**

現在、日本の景気は停滞し、失
業率もこれまでにないほど高い率

1 地域の元氣再生

県が進めているティーガーデン
構想に沿って、富士山静岡空港か
ら南アルプスへ向けての街道づく
りを推進します。国道バイパスの
整備促進を図るとともに、大井川
や大井川鐵道、南アルプスあぶと
ラインなどを軸として、途中何か
所かに一服処のような場所を設け、
特産品の紹介や販売、飲食の提供
などができるようにしたいと思い
ます。それにより、地域にお金が
落ちるような仕掛けができれば
と考えています。

平成24年度には長島ダムが竣工
10周年を迎えます。水源地である
本町を、近隣市町に広くアピール
していきます。

宿泊客の減少に悩む観光分野で
は、温泉の利活用を高め、寸又峽
など温泉地の再生を図る施策を講
じていく必要があります。

いずれにしても地域の元氣は、
町の風土に根ざした歴史、文化、
産業、人の知恵など、地域資源や
人材をいかに活用できるかが最も



寸又峽など観光分野の活性化を

大切で、これからは農商工観光
一体となった、いわゆる6次産業
化を進めたいと考えています。

将来の町を担う「人材育成」は、
まちづくり施策の中でもきわめて
重要な位置を占めるものです。小
学校、中学校のあり方を真剣に議
論しなければいけませんし、川根
高等学校が将来にわたって存続で
きるような方向性も探っていくか
なければなりません。地域の皆さん
との対話を基本に、これらの検討
を進めていきたいと考えています。

2 安心して暮らせる環境基盤

懸念される東海地震や集中豪雨
などの大災害に備え、防災対策を
進めるとともに、防災訓練など地
域に根ざした防災体制の確立を目



川根高等学校の将来にわたる存続を

指していきます。

医療福祉の分野では、今後も各
種予防接種や健康教室など、予防
や保健に力を注いでいきます。子
育てから高齢者福祉にいたるまで、
安心して暮らせるまちづくりを目
指していきたいと思っています。

昨年、住民説明会を実施した「情
報通信基盤整備事業（光ファイバ
整備）」については、現在さまざま
な意見が町に投げかけられていま
す。これから「検討会」を設置し
数回にわたって内容を検討します。
その結果を待って、皆さんのご理
解が得られるような形で情報化を
進めていきたいと考えています。

3 住民役のまちづくり

住民が主役のまちづくりを進め

るためには、地域コミュニティ
の核である「自治会」の力を付け
ていくことが最も必要です。

世帯数は年々減少し、少子化や
高齢化も進んでいる現在、自治会
は数々の課題を抱えています。「地
域のことは地域で解決」できるよ
うに体質を強化していかなければ
なりません。持続してコミュニ
ティーが存続していくため、避け
ては通れない課題です。

このほかにもNPO法人などの
組織づくりや人材育成などにも目
を向けたいと考えています。

**ピンチはチャンス
町の元氣再生を図りたい**

わたしたちのまち「川根本町」
には、オンリーワンやナンバーワ
ンの資源が数多くあり、それを支
える優れた人材が大勢います。
今までも、幾多の困難を乗り越
えて、町の元氣創造を図ってきた
のですから、このピンチをチャン
スととらえ「元氣再生」を図って
いきたい。そのための努力は惜し
まないことを約束します。

this month
HighLight

1

今月の注目

2011年のまちづくり「考」 川根本町長 佐藤公敏

Satoh Kimitoshi